



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～

中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ **あ**りがとう **あ**きらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

地域の皆様、いつも、見守り、ありがとうございます！

毎朝、子どもたちの登校時間に、「中原小学校入口」の横断歩道のところで、地域の方（佐藤さん、犬塚さん）が見守りをしてくださっています。また本校の子どもたちの多くが使用している釜津線階段近くでも地域の方（永松さん）が見守りを



してくださっています。また7月10日（水）もそうでしたが、毎月1日と20日の月2回、中原地区社会福祉協議会の方々が子どもたちの見守りをしていただいています。本校は、間もなく前期前半が終了します。この間、子どもたちが大きな事故にあうことなく、安全に登下校できたことは、地域の方々の見守りのおかげでもあります。今後も、地域・学校・家庭で子どもたちの安全を守っていききたいと思います。

子どもの事故防止について

7月20日（土）から子どもたちが楽しみにしている夏休みがスタートします。休みに入ると、子どもたちの気持ちが緩みがちです。休み中、安全第一で過ごしてほしいと思います。「水辺での過ごし方」「自転車の乗り方」などお子様といっしょに安全な過ごし方を考える時間を作っていただけたらと思います。

【水辺では？】

「少し足をひたすくらい」の深さでも、水流や波、急な深みに足を取られれば、水難事故に直結することがあると言われています。また着衣のまま水辺で転倒すると、衣類が水を含んで重くなるため（今年度、全学年で実施した着衣泳でも子どもたちは体験しています）、浅瀬でもあっても容易に立ち上がれないことができないと言われています。川の周辺は、コケなどで滑りやすくなっており、思いがけない水難事故が起こりやすい場所となっています。時に、川遊び中、履いてきたサンダルや帽子が流され、それを拾おうとして、溺水してしまったという事故も発生していると言われています。具体例をもとにお話してください。

【自転車に乗るときは？】

普段乗りなれている自転車かもしれませんが、自転車は乗り方によってはかなりのスピードが出る乗り物です。そのため、衝突した際の衝撃は大きく、状況によっては車や人と接触したら命を落としかねないことにつながります。もちろん、自分だけではなく、相手を傷つけてしまう可能性もあります。「すぐに止まれるスピードで走行する」「交差点では必ず一時停止する」「見通しの悪いところでは安全が確認してから走行開始する」「並走し走行しない」など具体例をもとにお話してください。

なお、ヘルメットの着用が努力義務化されています。乗る際には着用することをおすすめします。